

# 倉敷市廃棄物減量等推進審議会

(仮称) 倉敷西部クリーンセンター整備概要

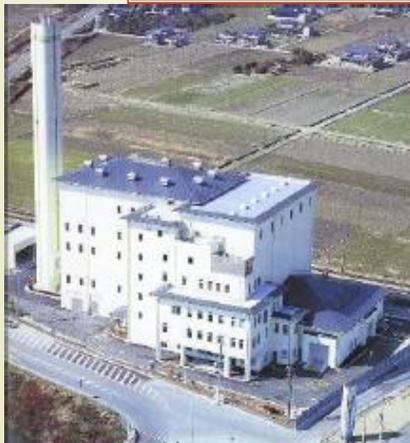
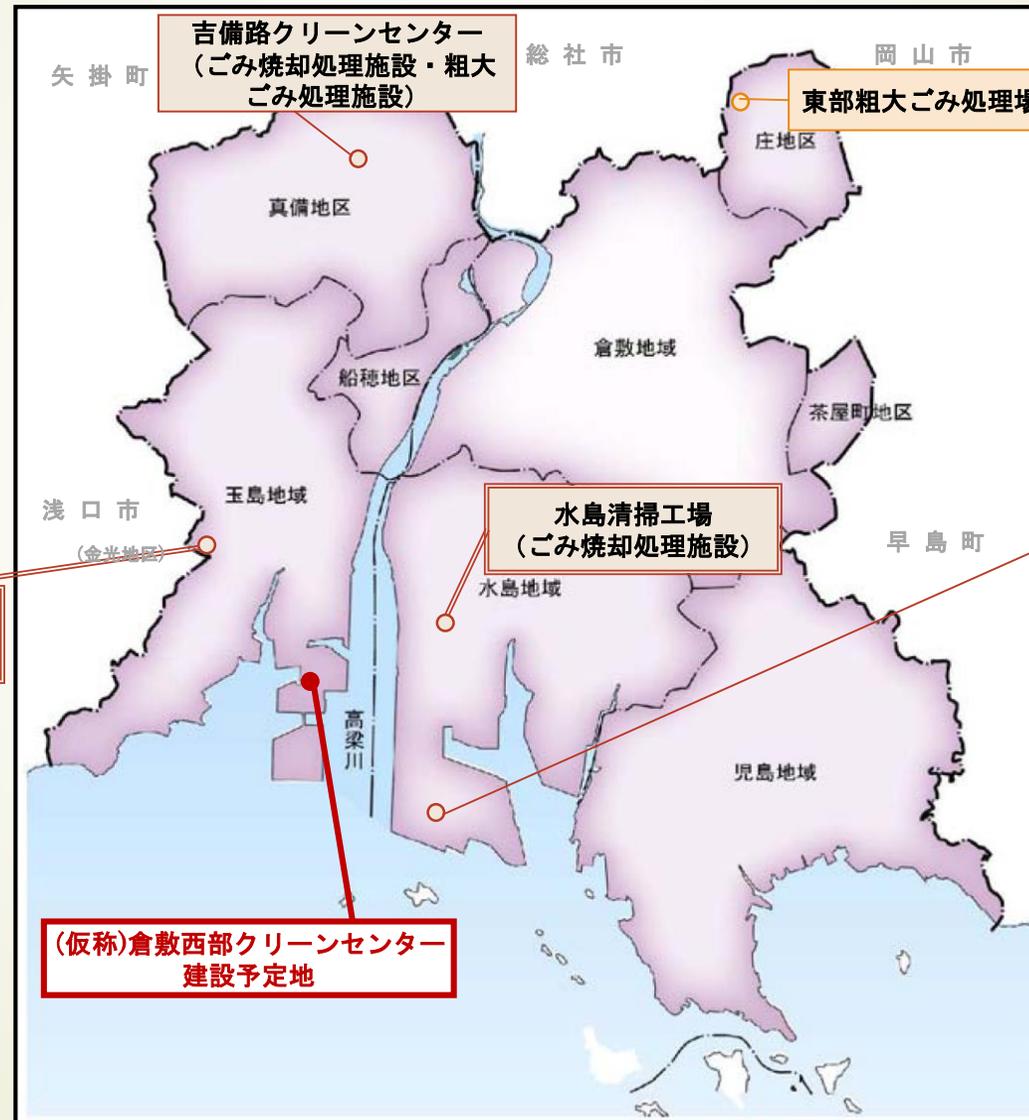
# 完成イメージ（南東）



# 完成イメージ（南東：夕景）



# 市内ごみ処理施設位置図



# 施設の必要性【基本計画時の資料】

ごみ焼却処理施設（4施設）		稼働・整備予定
水島清掃工場		基幹改良工事により令和16年度まで稼働
倉敷市・資源循環型廃棄物処理施設 （水島エコワークス）	<b>令和6年度末でPFI事業終了</b> （事業延長を行わない方針を決定）	2施設に代わり，令和7年度より稼働できるごみ焼却処理施設の整備が新たに必要
倉敷西部清掃施設組合清掃工場 （倉敷西部清掃工場）	構成市の脱退※及び施設老朽化により <b>令和6年度末で稼働停止</b> の予定	
総社広域環境施設組合 （吉備路クリーンセンター）		事務局は総社市であり，現在，基幹改良工事中

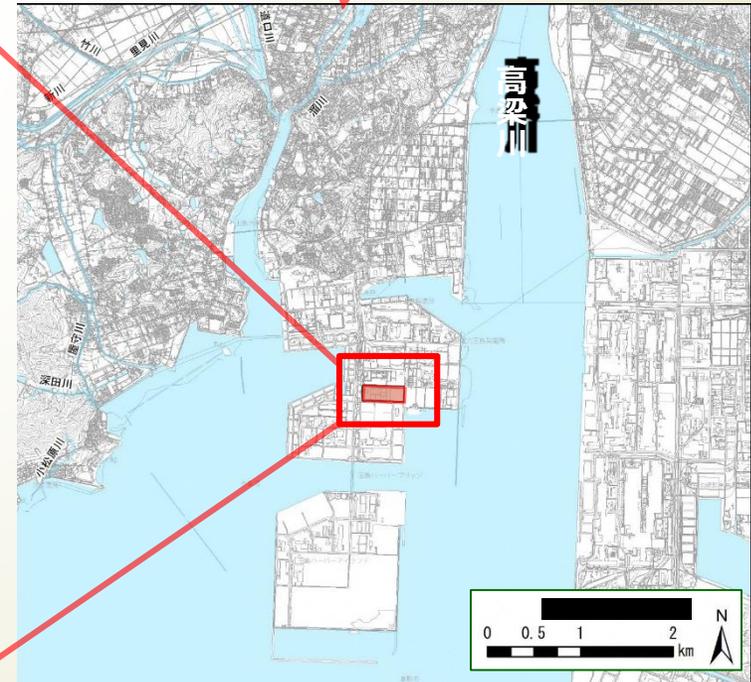
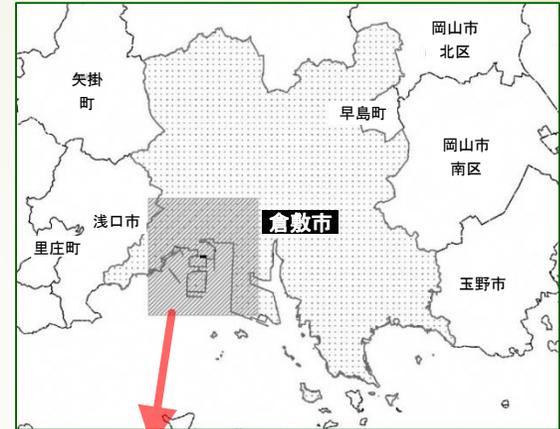
※一部事務組合の構成市である浅口市の金光地区が新岡山県ごみ処理広域化計画において，令和7年以降，西部ブロック統合新焼却施設（里庄清掃工場と井原クリーンセンターを統合した広域ごみ処理施設）の処理に移行予定

粗大ごみ処理施設		稼働・整備予定
粗大ごみ処理施設 （2施設）	東部粗大ごみ処理場	施設老朽化により，新施設の整備方針が決定
	吉備路クリーンセンター粗大ごみ処理施設	事務局は総社市であり，現在，基幹改良工事中

# 位置図

**位置：** 倉敷市玉島乙島字新湊8255番地49  
(都市計画法における用途地域：工業専用地域)

**全体面積：** 約6ha (開発区域面積は約3ha)



## 5つの理念・基本方針

新施設が備えるべき条件として、下記の5つの理念・基本方針を定める。

**理念1 安全・安心・安定的な処理が確保できる施設**

**理念2 環境保全に配慮した施設**

**理念3 災害廃棄物等処理への対応ができる施設**

**理念4 ライフサイクルコストの適正化を図った施設**

**理念5 社会情勢等の変化への柔軟な対応ができる施設**

## (仮称) 倉敷西部クリーンセンター整備事業概要

### ▶ 新たに整備を行う施設

ごみ焼却処理施設, 粗大ごみ処理施設, 市民等直接持込み施設

### ▶ 建設予定地

倉敷市玉島乙島字新湊8255番地49

### ▶ 敷地面積

6 ha (内西側 3 haは将来建替え用敷地 )

### ▶ 施設規模

- ・ ごみ焼却処理施設 : 300 t/日
- ・ 粗大ごみ処理施設 : 20 t/日
- ・ 市民等直接持込み施設 : 約400m<sup>2</sup> (ストックヤード面積)

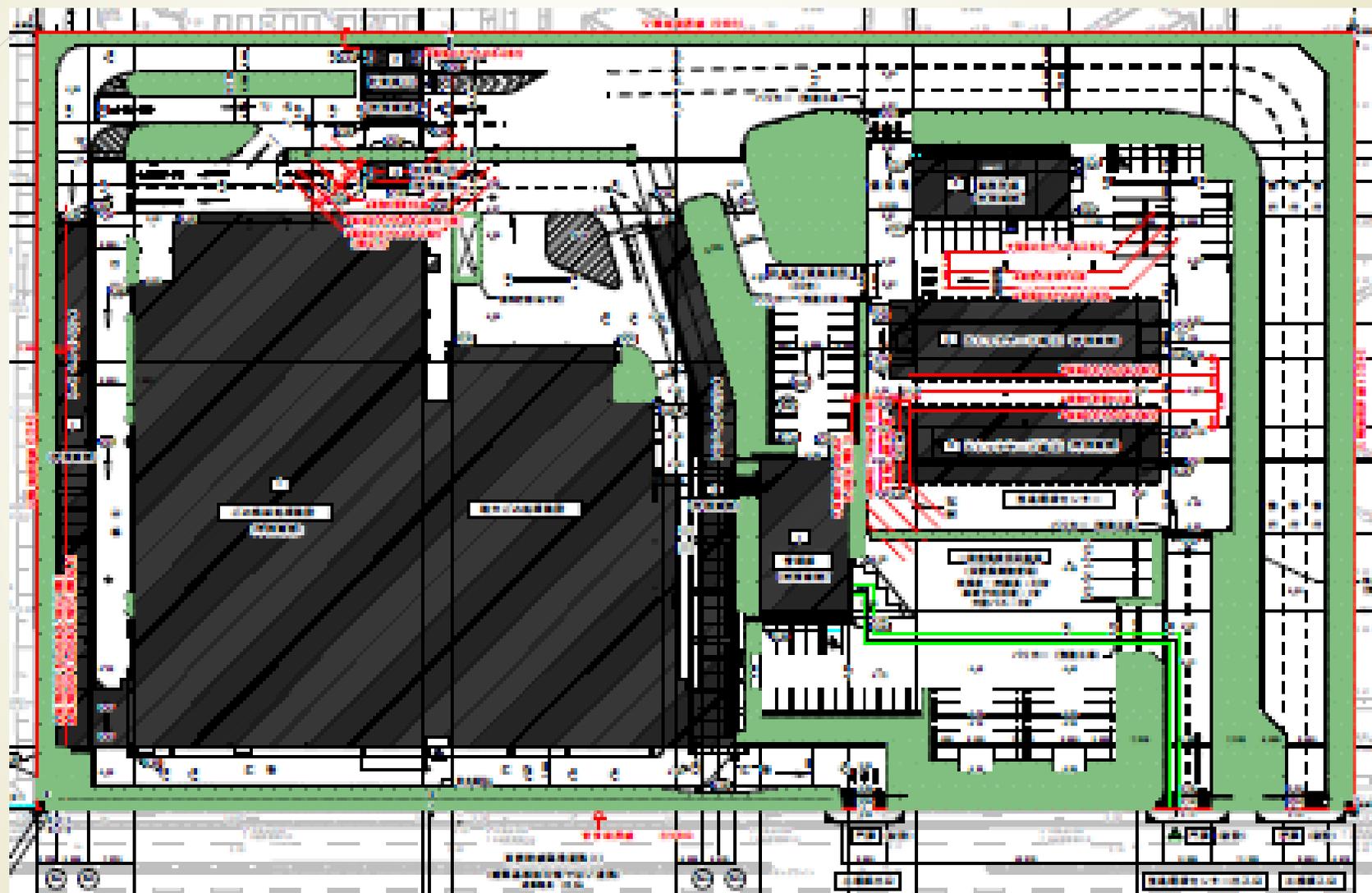
### ▶ 処理対象物

- ・ ごみ焼却処理施設 : 燃やせるごみ, 可燃性粗大ごみ
- ・ 粗大ごみ処理施設 : 不燃ごみ, 不燃性粗大ごみ, 埋立ごみ(破碎分)
- ・ 市民等直接持込み施設 : 燃やせるごみ (直接搬入分), 資源ごみ, 埋立ごみ, 粗大ごみ, 乾電池

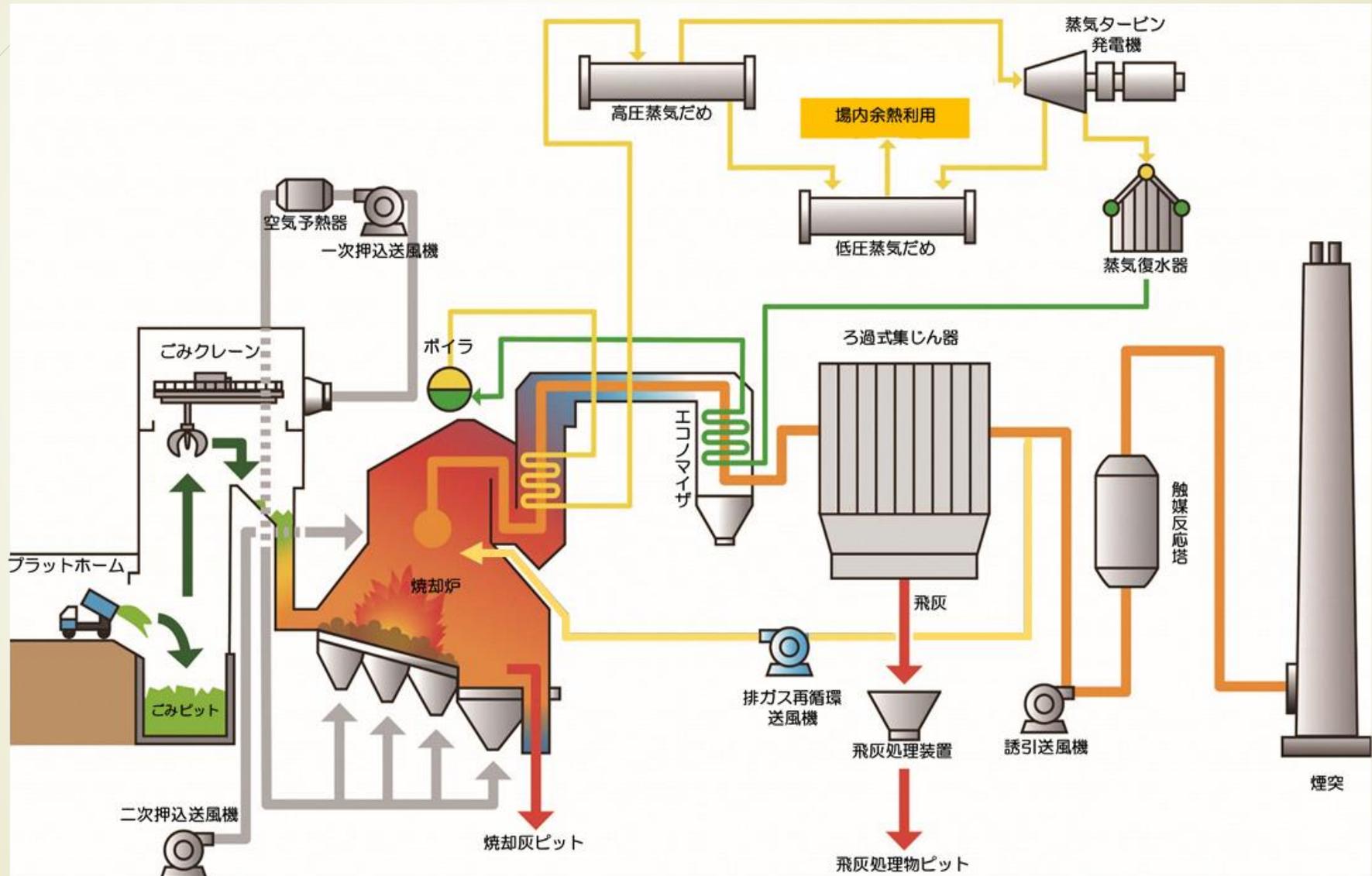
### ▶ 設計・建設時期

令和2年度～令和6年度 (供用開始 : 令和7年4月)

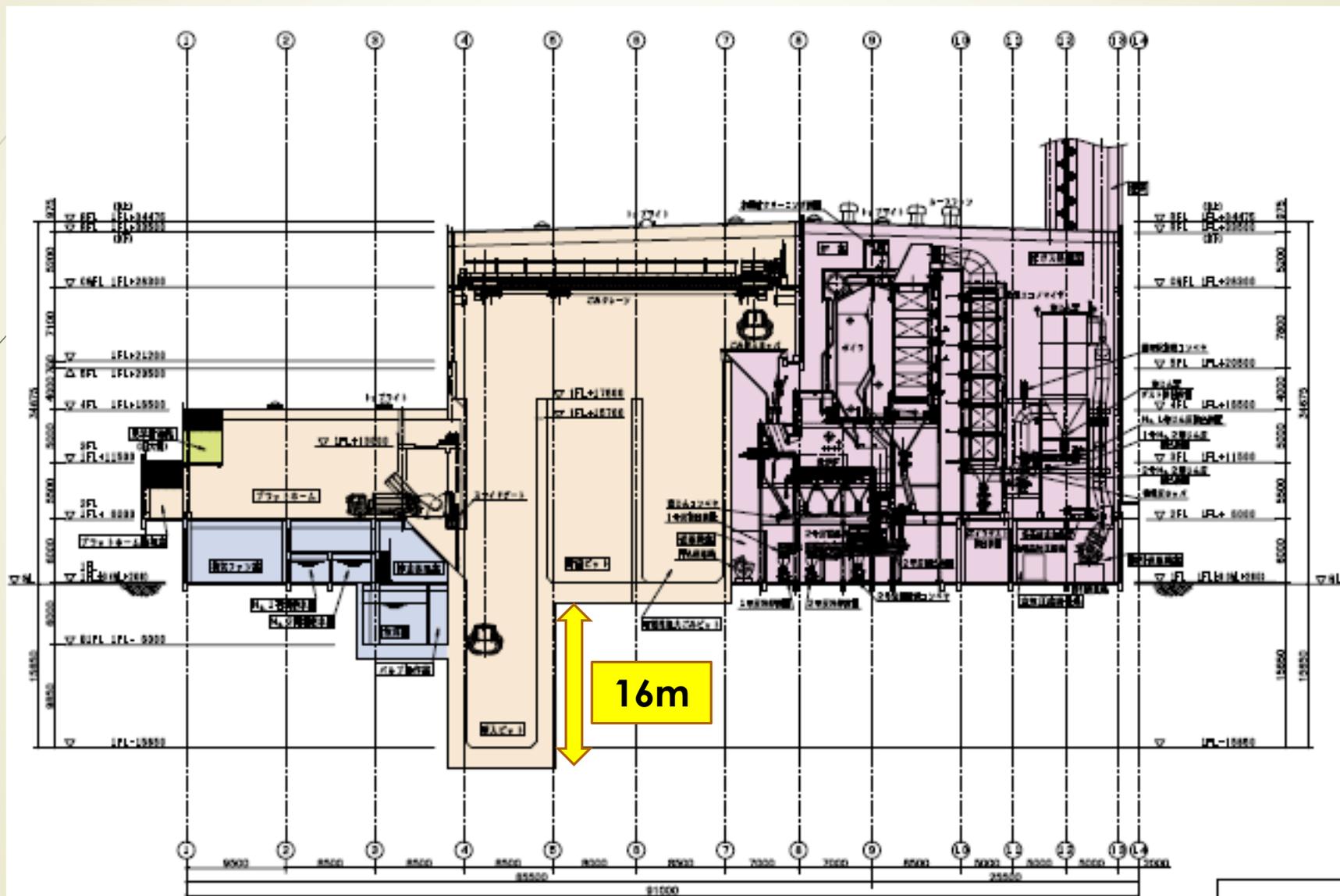
# 全体配置図



# 焼却フロー図



# 断面图



# 計量, プラットフォーム, ごみクレーン



- ごみクレーン
- ・省力化
- ➔自動運転



- ごみピット
- ・非常時対策
- ➔7日分のピット容量
- ・臭気対策
- ➔負圧維持

# 焼却炉，中央制御室



## ■ 焼却炉

- ・ 処理の安定性
- ➔ 導入実績No.1スト-カ炉



## ■ 中央制御室

- ・ 有害物質発生の制御
- ➔ 自動化された燃焼管理システム

# ろ過式集じん器, 灰ピット (クレーン)



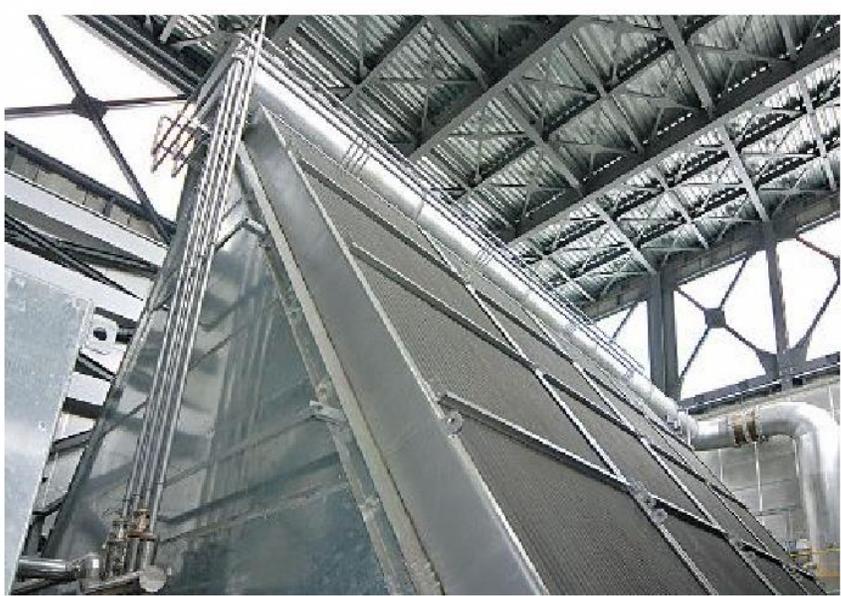
- ろ過式集じん器
- ・ 環境対策
- ➡ 厳しい自主基準値の設定

排ガス緒元	自主基準値	法規制値
硫黄酸化物	30 ppm以下	K値 1.75 以下(320 ppm相当以下)
窒素酸化物	50 ppm以下	250 ppm 以下
ばいじん	0.01 g/m <sup>3</sup> N以下	0.04 g/m <sup>3</sup> N 以下
塩化水素	30 ppm以下	430 ppm 以下
水銀	30 μg/m <sup>3</sup> N以下	30 μg/m <sup>3</sup> N 以下
ダイオキシン類	0.05 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N 以下

# ボイラドラム，蒸気タービン発電機、蒸気復水器



発電量（想定）  
44,000MWh/年  
（一般家庭10,000世帯分）



発電電力の利用方法

- ① 自営線供給
  - ・ 玉島下水処理場
  - ・ 玉島環境センター
- ② 自己託送
  - ・ 上記以外の市有施設
- ③ 売電
  - ・ 上記①②の余剰電力

# 高効率発電について（水島清掃工場と新施設の比較）

## 【基本計画時の資料】

項目	水島清掃工場		新施設	事業者提案値
	改造前	改造後		
施設規模	300 t / 日 (150 t / 24h × 2炉)		300 t / 日 (150 t / 24h × 2炉)	
発電機能力	1,900kW	3,400kW	5,600~6,600kW	→ 7,880kW
所内使用電力	1,140kW	1,110kW	1,700~1,900kW	
発電能力 - 所内使用電力 (自己託送または売電)	760kW (約1,400世帯分※1)	2,290kW (約4,300世帯分※1)	3,700~4,900kW (約7,000~9,300世帯分※1)	
CO <sub>2</sub> 削減量※2	△2,800 t - CO <sub>2</sub> /年	△8,500 t - CO <sub>2</sub> /年	△13,800~△18,300 t - CO <sub>2</sub> /年	
エネルギー回収率	4.7%	8.4%	21.4% (交付要件19.0%以上)	→ 26.8%

注) 新施設の発電機能力等の数値はメーカーアンケートによる。

※1 一般家庭1世帯あたり12.65kWh/日と想定(資源エネルギー庁資料による)

※2 電力のCO<sub>2</sub>排出係数0.000555 t-CO<sub>2</sub>/kWhとした。(廃棄物処理部門における温室効果ガス排出抑制等指針マニュアル(2012環境省)より) また、稼働日数は280日/年とした。

# 低速回転破碎機，高速回転破碎機，選別装置



## ■ 破碎機

- ・爆発・火災防止
- ➡低速・高速の2段階破碎



## ■ 選別装置

- ・再資源化等の適正処理
- ➡可燃物、不燃物、鉄、アルミの4種選別

# 災害対策

① 掘削残土による嵩上げ

② 遮水板の設置

③ 重要諸室の上階設置

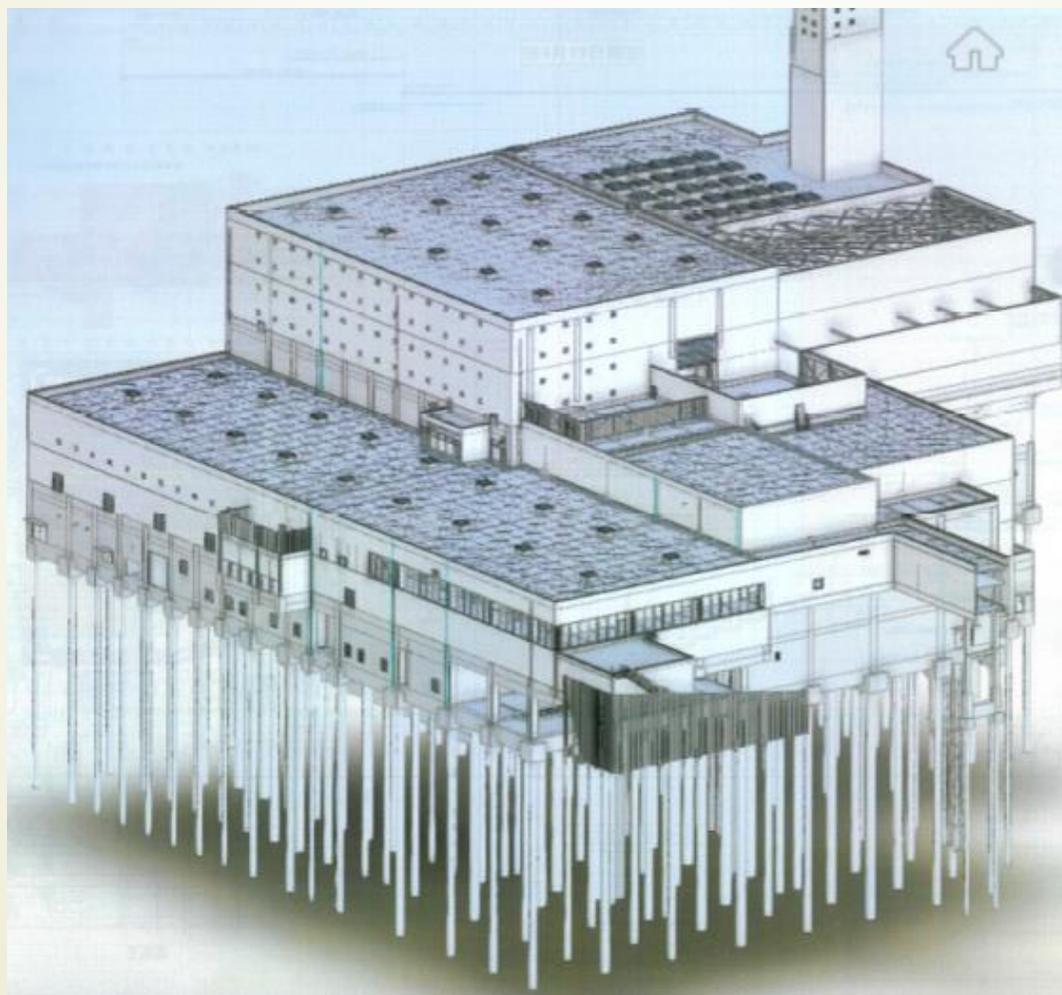
- ・電気室、発電機室は2階以上に設置

④ 建物の耐震安全性確保

- ・耐震安全性分類（『官庁施設の総合耐震設計基準及び同解説（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修）』）

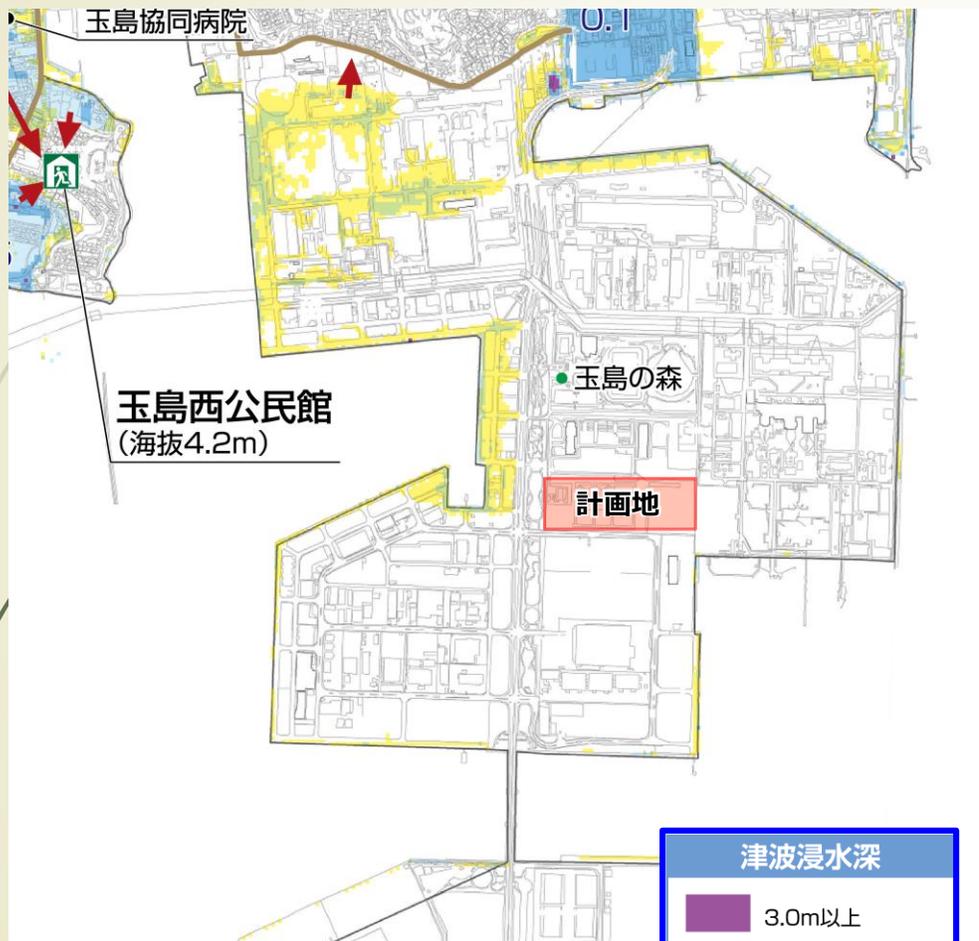
- ◎ **構造体** **Ⅱ類**（大地震動後、大規模の修繕を必要とする損傷が生じず、直ちに使用することができる）
- ◎ **建築非構造部材** **A類**（大地震動後、災害応急対策若しくは危険物の管理への支障となる損傷または移動しないもの）
- ◎ **建築設備** **甲類**（設備機器、配管等の損傷又は移動による被害が拡大せず、必要な建築設備の機能を直ちに発揮し、かつ相当期間維持することができる）

# 杭 (CG)

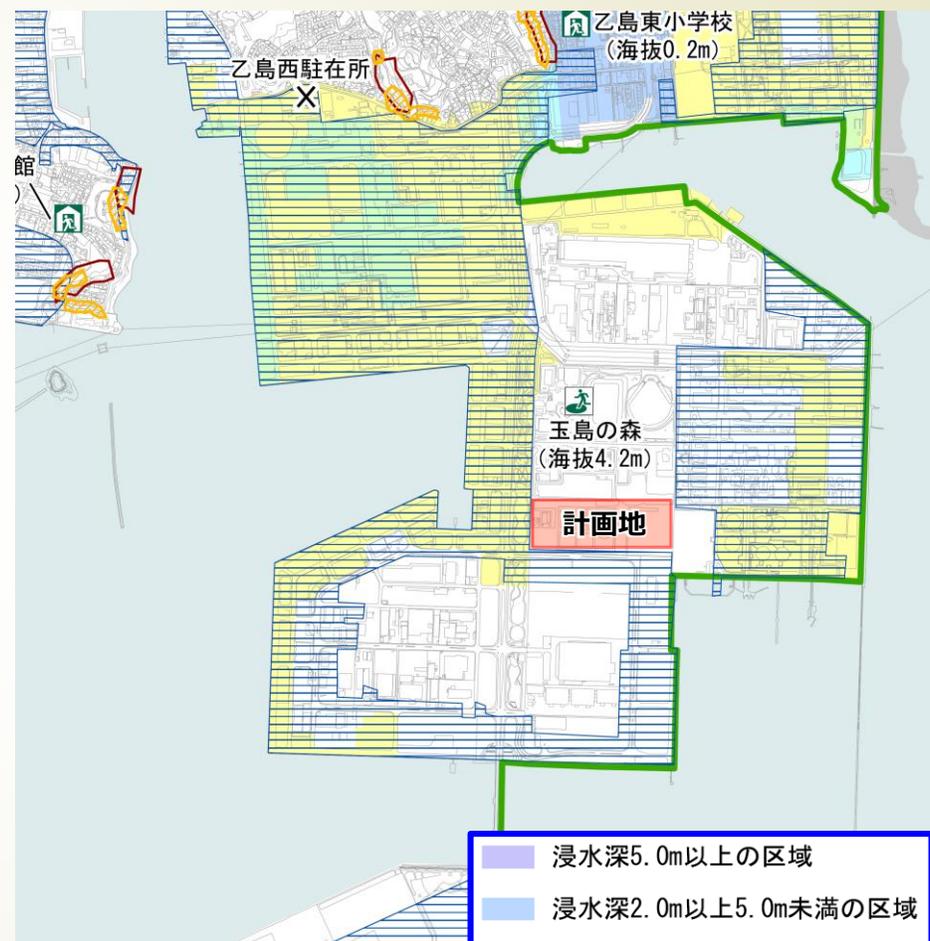


- 杭
- ・ 本数  
➡ 213本
- ・ 杭長  
➡ 30m (最長)

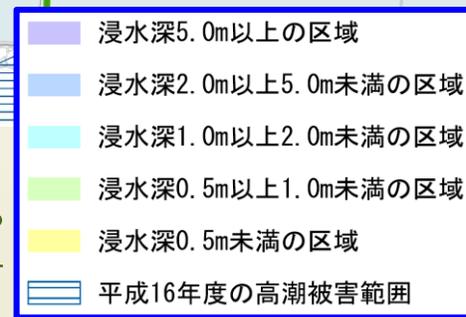
# ハザードマップ



津波ハザードマップ



洪水・土砂災害  
ハザードマップ



# 現在の工事状況（令和4年6月）



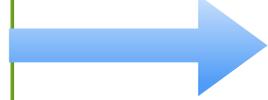
# 現在の工事状況（令和5年1月）



# 現在の工事状況（令和5年6月）



# スケジュール

	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度
設 計						
準備工事						
建設工事						
試 運 転						
稼 働						



ご清聴ありがとうございました。



**【以降，補足資料】**

# 交通量 (想定)

【平日】令和4(2022)年1月28日(金)

	上り(北方向)										下り(南方向)									
	①現況			②施設関連			将来交通量(①+②)			(①+②)/①	①現況			②施設関連			将来交通量(①+②)			(①+②)/①
	大型車	小型車	計	大型車	小型車	計	大型車	小型車	計		大型車	小型車	計	大型車	小型車	計	大型車	小型車	計	
0:00 ~ 1:00	14	26	40	0	0	0	14	26	40	1.00	25	9	34	0	0	0	25	9	34	1.00
1:00 ~ 2:00	22	17	39	0	0	0	22	17	39	1.00	32	15	47	0	0	0	32	15	47	1.00
2:00 ~ 3:00	30	28	58	0	0	0	30	28	58	1.00	33	18	51	0	0	0	33	18	51	1.00
3:00 ~ 4:00	27	17	44	0	0	0	27	17	44	1.00	25	36	61	0	0	0	25	36	61	1.00
4:00 ~ 5:00	59	14	73	0	0	0	59	14	73	1.00	28	51	80	0	0	0	28	51	80	1.00
5:00 ~ 6:00	51	37	88	0	0	0	51	37	88	1.00	61	77	138	0	0	0	61	77	138	1.00
6:00 ~ 7:00	63	45	107	0	0	0	63	45	107	1.00	77	263	339	0	0	0	77	263	339	1.00
7:00 ~ 8:00	85	48	133	0	0	0	85	48	133	1.00	109	980	1,089	0	0	0	109	980	1,089	1.00
8:00 ~ 9:00	189	90	279	11	20	31	200	110	310	1.11	153	507	660	11	20	31	164	527	691	1.05
9:00 ~ 10:00	241	103	344	31	53	84	272	156	428	1.24	208	159	367	31	53	84	239	212	451	1.23
10:00 ~ 11:00	212	140	352	36	65	101	248	205	453	1.29	223	126	349	36	65	101	259	191	450	1.29
11:00 ~ 12:00	204	156	360	33	57	90	237	213	450	1.25	199	127	326	33	57	90	232	184	416	1.28
12:00 ~ 13:00	110	196	306	22	38	60	132	234	366	1.20	151	195	346	22	38	60	173	233	406	1.17
13:00 ~ 14:00	201	140	341	28	50	78	229	190	419	1.23	188	136	324	28	50	78	216	186	402	1.24
14:00 ~ 15:00	178	192	370	26	46	72	204	238	442	1.19	205	132	337	26	46	72	231	178	409	1.21
15:00 ~ 16:00	169	250	419	22	38	60	191	288	479	1.14	164	170	334	22	38	60	186	208	394	1.18
16:00 ~ 17:00	105	318	423	9	15	24	114	333	447	1.06	114	111	225	9	15	24	123	126	249	1.11
17:00 ~ 18:00	63	950	1,013	0	0	0	63	950	1,013	1.00	53	92	145	0	0	0	53	92	145	1.00
18:00 ~ 19:00	29	396	425	0	0	0	29	396	425	1.00	37	44	81	0	0	0	37	44	81	1.00
19:00 ~ 20:00	16	193	209	0	0	0	16	193	209	1.00	22	44	66	0	0	0	22	44	66	1.00
20:00 ~ 21:00	31	192	224	0	0	0	31	192	224	1.00	40	24	64	0	0	0	40	24	64	1.00
21:00 ~ 22:00	20	134	154	0	0	0	20	134	154	1.00	20	14	34	0	0	0	20	14	34	1.00
22:00 ~ 23:00	14	72	86	0	0	0	14	72	86	1.00	19	13	32	0	0	0	19	13	32	1.00
23:00 ~ 0:00	16	47	63	0	0	0	16	47	63	1.00	32	13	45	0	0	0	32	13	45	1.00
合計	2,150	3,801	5,950	218	382	600	2,368	4,183	6,550		2,218	3,355	5,573	218	382	600	2,436	3,737	6,173	



# 環境影響評価（評価結果）

環境要素の区分		影響要因の区分	予測結果	環境要素の区分	影響要因の区分	予測結果
大気環境	大気質	硫黄酸化物	○	動物	重要な種及び群集並びに注目すべき生息地	○
		窒素酸化物	○	植物	重要な種及び群集並びに注目すべき生育地	○
		浮遊粒子状物質	○			
		塩化水素	○	生態系	地域を特徴づける生態系	○
		ダイオキシン類	○	景観	主要な眺望点及び景観資源並びに主要な眺望景観	○
		水銀	○			
		粉じん等	○			
	騒音	騒音	○	人と自然との触れ合いの活動の場	主要な人と自然との触れ合いの活動の場	○
	振動	振動	○	廃棄物等	建設工事・施設の稼動に伴う副産物	○
	悪臭	悪臭	○	温室効果ガス等	二酸化炭素・メタン等	○

注) ○は環境基準（環境基本法に基づき告示等で定められた基準）等に対する判定

# 施設整備地の評価

検討項目	検討結果
収集運搬効率	玉島地区に位置し、収集対象4区域の人口重心*からの離隔は約8～10kmとなる。
主要道路からのアクセス性	建設候補エリアは2車線道路に接道している。
工業用水による給水可能性	工業用水の給水可能性が高い区域(工業用水道から1kmの範囲)にある。
下水道放流の可能性	建設候補エリアは、下水道放流が可能である。
電力(特別高圧線*)へのアクセス性	66kv送電線から1kmの範囲内にある。送電線からの分岐で系統連携が可能と考えられる。また、エリア内に発電所、変電所がある。

- \* 人口重心とは、その地域に住む住民一人ひとりの体重が同じと仮定して、全体のバランスの取れる地点のこと
- \* 特別高圧線とは、新ごみ焼却処理施設が発電及び受電する電気を売買電するために必要な送電線のこと
- \* 岡山県による南海トラフ巨大地震の被害想定に基づく

検討項目	検討結果	
環境面	保全対象(学校, 病院, 住宅, 文化財等)との離隔	住宅地等保全対象は近傍に存在せず、生活環境を保持するため、法律・条例以上の厳しい上乘せ基準を定める必要がない。
	自然の多様性	元々が工業地帯の人為的な環境にあり、当該地点において配慮すべき自然の多様性は見出せない。
社会面	現況の土地利用	工業地帯の中の未利用地であり、開発に支障はない。
経済面	市有地	市有地であり、新たな買収の必要がない。
	用地買収費用	用地買収には8.4億円(うち約5億円が補助金)を要した。補助金の返還処理は生じる可能性がある。
	初期費用に与える影響	杭基礎構造とする必要があるが、新たな造成は発生しない。
防災面*	地震被害	想定震度は「6弱」である。
	液状化被害	当該候補地及び搬入ルートを含め、液状化の影響を被るおそれがある。
	津波被害	津波浸水は想定されていない。
	洪水浸水想定	被害想定はない。
技術面	用地造成の容易性	用地造成の必要はない。

## 環境影響評価（施設の緒元）

項目		ごみ焼却処理施設	法規制値
処理方式		焼却方式（ストーカ式）	
施設規模		300 t /日(150 t /24h×2炉)	
煙突高		59 m	
排ガス量	湿り	約42,100 m <sup>3</sup> N/h×2炉	
	乾き	約36,000 m <sup>3</sup> N/h×2炉	
排ガス温度		160 ℃	
排ガス諸元	硫黄酸化物	30 ppm以下	K値 1.75 以下(320 ppm相当以下)
	窒素酸化物	50 ppm以下	250 ppm 以下
	ばいじん	0.01 g/m <sup>3</sup> N以下	0.04 g/m <sup>3</sup> N 以下
	塩化水素	30 ppm以下	430 ppm 以下
	水銀	30 μg/m <sup>3</sup> N以下	30 μg/m <sup>3</sup> N 以下
	ダイオキシン類	0.05 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N以下	0.1 ng-TEQ/m <sup>3</sup> N 以下

# 【施設整備地選定（建設候補地の評価）】

検討項目		検討内容	検討結果	評価
環境面	保全対象との離隔	保全対象（学校，病院，住宅，文化財，景観資源等）との離隔	住宅地等保全対象は近傍に存在せず，生活環境を保持するため，法律・条例以上の厳しい上乘せ基準を定める必要がない。	◎
	自然の多様性	建設候補地内の現存植生及び植生自然度による概略評価	元々が工業地帯の人為的な環境にあり，当該地点において配慮すべき自然の多様性は見出せない。	
社会面	現況の土地利用	未利用地，更地，田畑，山林等，今後開発が可能である区域であること。	工業地帯の中の未利用地であり，開発に支障はない。	◎
経済面	市有地		市有地であり，新たな買収の必要がない。	◎
	用地買収費用	公示地価から推定	用地買収には8.4億円（うち約5億円が補助金）を要した。補助金の返還処理は生じる可能性がある。	
	初期費用に与える影響	基礎構造，電力等の負担金，防災対応による費用増の可能性	杭基礎構造とする必要があるが，新たな造成は発生しない。	
防災面 *	地震被害	想定される地震の最大震度	想定震度は「6弱」である。	○
	液状化被害	想定される液状化の有無及び程度	当該候補地及び搬入ルートを含め，液状化の影響を被るおそれがある。	
	津波被害	津波による浸水想定の有無及び程度	津波浸水は想定されていない。	
	洪水浸水想定	河川氾濫による浸水想定の有無及び程度	被害想定はない。	
技術面	用地造成の容易性	地盤条件がよいこと	用地造成の必要はない。	◎

\* 岡山県による南海トラフ巨大地震の被害想定に基づく

## 【施設整備地選定（施設運営側面からの検討）】

検討項目	検討内容	検討結果	評価
収集運搬効率	新施設の処理対象ごみ収集範囲の人口重心*からの離隔：離隔が大きいほど、収集車両の運搬距離が長くなる)	玉島地区に位置し、収集対象4区域の人口重心からの離隔は約8~10kmとなる。	○
主要道路からのアクセス性	主要道路（国道，県道，市道等で2車線以上の道路）と接道している状況	建設候補エリアは2車線道路に接道している。	◎
工業用水による給水可能性	既設工業用水の配水範囲から概ね1kmの範囲にあること	工業用水の給水可能性が高い区域（工業用水道から1kmの範囲）にある。	◎
下水道放流の可能性	下水道処理計画区域内であること	建設候補エリアは、下水道計画区域（事業計画区域）に含まれている。	◎
電力（特別高圧線*）へのアクセス性	既設の66kV特別高圧線の架空位置から概ね1kmの範囲にあること	66kv送電線から1kmの範囲内にある。送電線からの分岐で系統連系が可能と考えられる。また、エリア内に発電所，変電所がある。	◎

\* 人口重心とは、その地域に住む住民一人ひとりの体重が同じと仮定して、全体のバランスの取れる地点のこと

\* 特別高圧線とは、新ごみ焼却処理施設で発電する電気を売電するために必要な送電線のこと

## 【施設整備地選定（除外条件の設定）】

建設可能地域を設定するため、ごみ処理施設の立地が不適当と考えられる区域を不適地として除外するため、除外条件を設定する。

除外条件は、法的な規制の側面から設定するものとする。

除外条件	根拠法令	理由	備考	除外条件	根拠法令	理由		
住居系・商業系用途地域	都市計画法	国土交通省「都市計画運用指針第7版」（平成26年8月）においては、廃棄物処理施設の設置にあたり、「市街化区域及び用途地域が指定されている区域においては、工業系の用途地域に設置することが望ましい」とされている。	法的に一般廃棄物処理施設立地は認められない	自然環境保全地域	自然環境保全法 岡山県自然保護条例	自然環境保全法及び都道府県条例に基づき、自然環境の保全や生物の多様性の確保のために指定された地域である。優れた自然環境を維持している地域として、原生自然環境保全地域、自然環境保全地域、都道府県自然環境保全地域が指定され、開発等に際して、一定の制限や禁止事項が定められている。		
農業振興地域 農用地区域	農地法 農業振興地域に関する法律	農業振興地域内は総合的に農業の振興を図ることが必要であると認められる地域であり、農業振興地域内の農用地区域を別の用途に転ずるに際しては、法律による制限がかかっている。				保安林	森林法	保安林とは、水源のかん養、土砂の崩壊その他の災害の防備、生活環境の保全・形成等、特定の公共目的を達成するため、農林水産大臣又は都道府県知事によって指定される森林であり、立木の伐採や土地の形質の変更等が規制されている。
自然公園区域	自然公園法 岡山県立自然公園条例	自然公園は、優れた自然の風景地に区域を画して設けられる公園であり、国立公園、国定公園、県立自然公園に分けられる。自然公園区域内には、開発等に際して、一定の制限や禁止事項が定められている。						

## 5つの理念・基本方針

新施設が備えるべき条件として、下記の5つの理念・基本方針を定める。

### 理念1 安全・安心・安定的な処理が確保できる施設

- ・ごみ量・質による変動にも対応でき、長期間安定稼働を持続的に行えるよう安定性を備えた技術を導入
- ・地域、施設で働く人にとって、十分な安全・安心を確保、安全性や危機管理について万全の配慮

### 理念2 環境保全に配慮した施設

- ・環境との調和に配慮、資源循環と最終処分量の減量化への寄与が可能な技術を導入
- ・地球温暖化防止に貢献、省エネルギーへの寄与が可能な技術を積極的に導入
- ・積極的に発電し、売電もしくは電力地産地消を行い、高効率発電技術を導入
- ・環境保全に係る自主基準は法規制基準よりも遥かに厳しいものとし、運転時にはさらに厳しい管理基準値を設け、自主基準の遵守を確実にできる設備を導入
- ・周辺の良い環境維持に寄与、臭気対策や騒音・振動対策に万全の配慮
- ・周辺環境との調和を図り、建物のデザインや彩色は景観に十分配慮
- ・ごみ減量や地球温暖化防止等の啓発の拠点、環境教育に関する設備を導入
- ・工場内の見学ルートや見学対象は、ごみ処理の流れや発電の仕組み等がわかりやすいように設定、見学者が興味を持って何度でも訪問してもらえるよう工夫

## 5つの理念・基本方針

### 理念3 災害廃棄物等処理への対応ができる施設

- ・ 災害廃棄物処理への対応が可能なように、余裕のある処理能力を備えた設備を導入
- ・ 平常時に排出されるごみとは性状が異なる災害廃棄物への対応が可能な処理技術
- ・ 津波や地震等にも強い施設とし、防災・減災に寄与する設備を導入

### 理念4 ライフサイクルコストの適正化を図った施設

- ・ 施設の計画・設計・建設から運営・維持管理・改修、収集・運搬までを含めたごみ処理システム全体で常に経済性や効率性に配慮、ライフサイクルコストの適正化

### 理念5 社会情勢等の変化への柔軟な対応ができる施設

- ・ 最新の技術を活用し、かつ将来的な処理システムや公害防止基準の変化にも柔軟に対応可能な設備を導入

## ■ ゴミ焼却処理施設の処理方式

本市のごみ焼却処理施設として採用可能な処理方式として下記3ケースを抽出

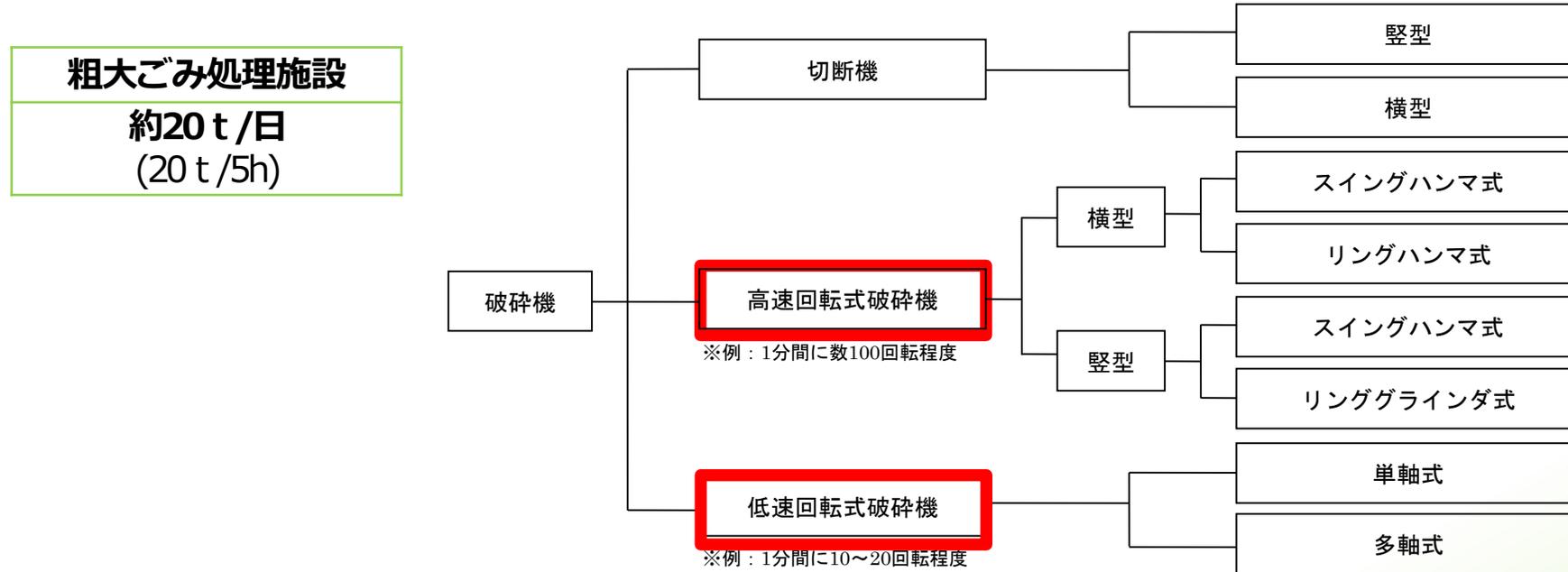
項目	ゴミ焼却処理施設		
	焼却方式 (ストーブ方式)	ガス化溶融方式 (シャフト式・流動床式)	
処理方式		(シャフト式・流動床式)	(シャフト式・流動床式)
施設規模	約300 t /日 (150 t /24h×2炉)	約350 t /日 (175 t /24h×2炉)	約300 t /日 (150 t /24h×2炉)
灰処理方法	焼却灰 + 水島清掃工場焼却灰 : 民間処理 (資源化)	溶融飛灰 : 民間処理 (資源化)	溶融飛灰 + 水島清掃工場焼却灰 : 民間処理 (資源化)
概略フロー			

メーカーヒアリング等により「安全・安心・安定的な処理の確保」、「環境保全への配慮」、「ライフサイクルコスト」等の面から比較評価

**新ごみ焼却処理施設の処理方式は『焼却方式（ストーブ方式）』  
とし、焼却灰は民間処理（資源化）とすることを決定**

## ■ 粗大ごみ処理施設の処理方式

粗大ごみの破碎処理に採用可能な処理方式には下記がある。



破碎処理時の可燃性ガス等による爆発防止対策及び後段の選別処理における選別精度向上を目的として、現有施設と同様の処理方式である「低速回転破碎機(2軸) + 縦型高速回転破碎機」とする

## ■ 温室効果ガス削減とエネルギーの安定供給に対する地方公共団体の役割

**温室効果ガス削減**

**エネルギーシステムの強靱化**

**2030年度に2013年度比▲26%**

**分散型エネルギーシステム**

地方公共団体の公共施設を含む「業務その他部門」については、**2013年度比約40%減**が目標  
(業務その他部門CO<sub>2</sub>排出量の10%は地方公共団体の保有施設からの排出)

地域密着の**地産地消型**エネルギーシステムの構築  
(経済産業省「エネルギー革新戦略」より)

**高効率発電設備**の導入及び発電した電気の**自己託送**等により省エネ・温暖化対策の取組み及び地産地消型エネルギーシステム構築を推進する

国の制度面でも、下記のとおり「高効率発電」や「固定価格買取制度（F I T）」等、**エネルギーの積極的な回収利用の推進により、温室効果ガスの削減を目指している。**

### エネルギー回収率の交付要件

施設規模 (t/日)	エネルギー回収率(%)	
		CO <sub>2</sub> 交付金
100以下		10.0
100超,150以下		12.5
150超,200以下		13.5
200超,300以下		15.0
300超,450以下		16.5
450超,600以下		17.5
600超,800以下		18.5
800超,1,000以下		19.5
1,000超,1,400以下		20.5

今回計画  
300 t/日

### F I Tの利用制約

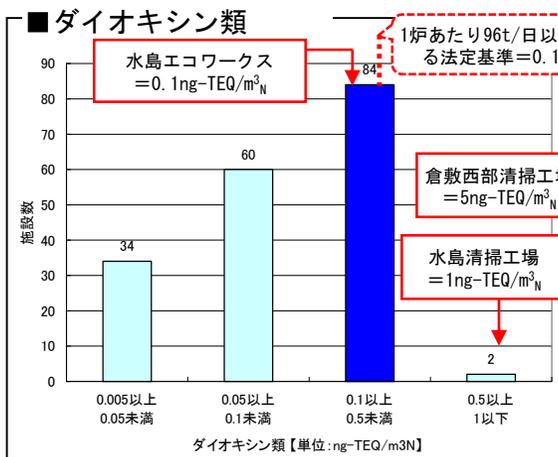
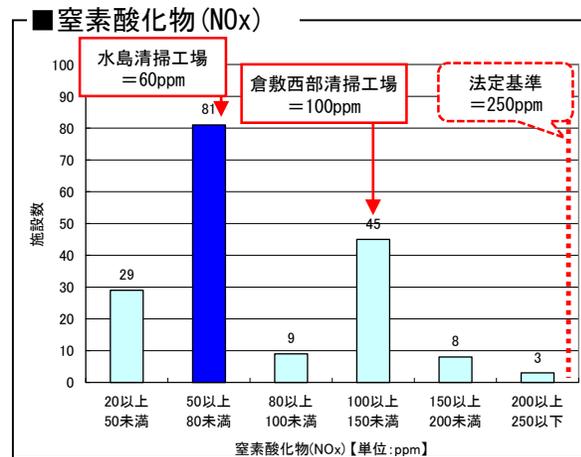
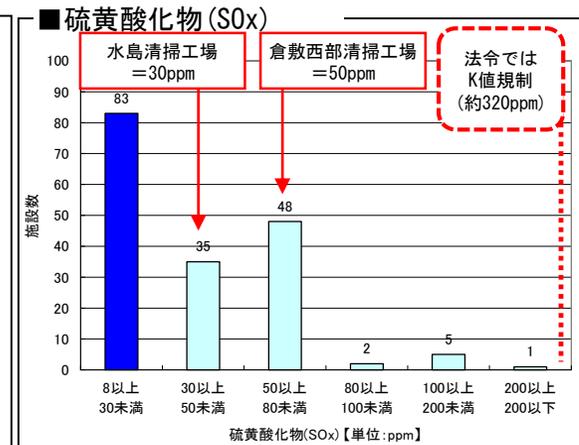
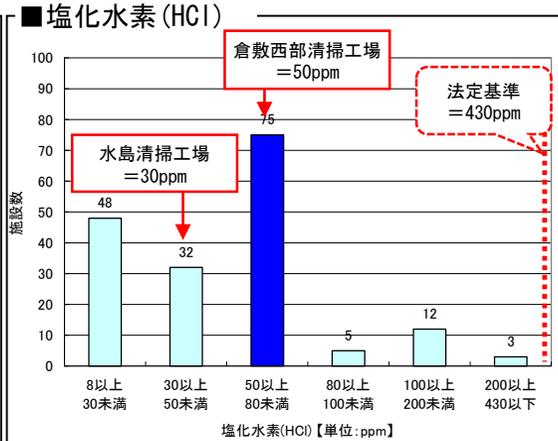
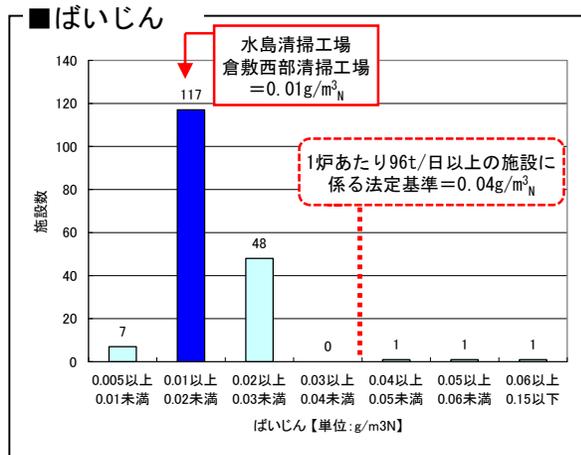
項目	CO <sub>2</sub> 交付金
F I T適用	×
買取価格 (円/kWh)	従来8~14円

注) F I T : 再生可能エネルギーの固定価格買取制度

注) 循環型交付金 : 循環型社会形成推進交付金

CO<sub>2</sub> 交付金 : 二酸化炭素排出抑制対策事業費交付金

# 排ガス



**■ = 最頻値**

※「ごみ焼却施設台帳(全連続燃焼方式)平成21年度版」(財)廃棄物研究財団より平成15~24年度竣工の施設を抽出したものに、独自に調査した平成25年度以降竣工の施設を追加

# 完成イメージ (南西)



# 平面図

